

二年 国語 (月 日)

ふきのとう①

二年 くみ 名まえ (

①きせつは いつですか。

②とうじょう人ぶつをかきましょう。

• • • • •



)

ふきのとう②

二年 くみ 名まえ (

○だが、はなしているのでしょう。

ページ	はなしていること	とうじょう人ぶつ
15	「さむかったね。」	
15	「うん、さむかったね。」	
16	「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」	
16	「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」	
16	「ごめんね。」	
17	「わたしも、早く とけて 水になり、 とおくへ 行って あそびたいけど。」	
17	「竹やぶの かげになって、お日さまが あたらない。」	
18	「すまない。」	
18	「わたしたちも、ゆれて おどりたい。 ゆれて おどれば、雪に 日が あたる。」	
18	「でも、はるかぜが まだ こない。 はるかぜが こないと、 おどれない。」	
19	「おや、はるかぜが ねぼうして いるな。 竹やぶも 雪も ふきのとうも、 みんな こまって いるな。」	
19	「おうい、はるかぜ。おきなさい。」	
20	「や、お日さま。や、みんな。おまちどお。」	

)

ふきのとう③

二年 くみ 名まえ ()

◎ 大体^{たい}の ないようを たしかめましょう。

① 竹やぶの 竹の はっぱが、
ささやいて います。

② が、雪を どけようと、
ふんばって います。



③ が、上を 見上げて、
「竹やぶの かげに なって、
お日さまが あたらない。」
と ざんねんそうです。



④ は、上を 見上げて
「はるかぜが こないと、おどれない。」
と ざんねんそうです。

⑤ が、
「おうい、はるかぜ。おきなさい。」
と 言いました。

ふきのとう④

二年 くみ 名まえ ()

⑥ お日さまに おこされた
ふうっと いきをはきました。
 は、

⑦ はるかぜに ふかれて、
竹やぶが ゆれて、
雪が とけて、

が ふんばって、
かおを 出しました。

⑧ もう、すっかり
 です。

